

水源禪師法話集 116

(2019 年 5 月 6 日 山梨合宿最終日)

2019 年 7 月 16 日

一乗禪の会



目次

水源禪師法話

アマゾンの秘薬（ウンニャデガト）	3
理解できている事は全部嘘の世界・ その中で生きている私達	4
エルドラド、黄金の図書館	5
仏界はいつでも最高の物が伝わる様にここに来ている	6
全てはお釈迦様の慈悲である	7
「無根樹」の極意は無我	8
虚空蔵菩薩様	10
只々、座って法を求めよ	10

水源禪師法話

アマゾンの秘薬（ウンニャデガト）

【全員】

いただきます。（薬草茶を皆で頂く）

【司会者】

苦いでしょう？ウンニャデガトの説明をちょっと。

【水源師】

ああ、これですね。これはアマゾンの秘薬と言って、全ての難病を治すと言う効能があつて、で、まあ、本物に出会えば本当に治るみたい。本物に出会うという事が(笑)、まあ、人生も決定的ですけど。まあ、なかなか出会えないと。

まあ、朝鮮人参もね、本物に出会うには、何千万というお金を出さなきゃいけないみたい。だから、それを山で皆一山当てるために、十人、二十人で探しに行くみたい。で、当たったら皆で分配すると。という風な、本物に出会うのは滅多に無いと。それがちょうど人間の形をしているわけですね。根っこが。人間の形をしている。

それで、エチオピアにはそういう植物があるのですよ。全く人間の形をした植物の根っこが。幽霊みたいに、正に、その本当に考える根っことか。形が正に人間のその通り。それは何にも不思議じゃないのですよ。深い意味でみれば、木も人間も同じ構造持っています。考える頭とか、胃とか、全く変わらないけど、形が違うけど、観えないのだけど、瞑想深くすれば、全く人間と変わらない。動かないだけで。同じ機能持っています。

だから、木も五千年、一万にもなればもう神の位に上がって、毎日瞑想している。じーっと。だから、動かないけれど、全世界の事をちゃんと分かっている。

だから、お釈迦様がよく、神木と言ってね。ま、そう言う…で、これはアマゾンだけにあるのですね。アマゾンにだけ。今、つい最近の地質学で分かった事は、広大なアマゾン全域は人工的に作られた大地であつて、テラ、テラッパ、テブラと言う…

【参加者】

テラプラタですね。テラプラタ。あの泥ですよ、黒い。

【水源師】

そう。それとアマゾンのあれを混ぜて、そしたら成長が凄いのですよ。で、それがインド全域位の広大な大地で、どれ位文明が発達したか、人間の頭には及ばない事を、かなり昔にやって。

丁度、アマゾンが人間の肺になるのですね。この地球にとって。これが無ければ私達全部消滅します。この私達の空気を吸っている動物生命体。と言う風に、想像を絶する事で。そこには超文明がいっぱいあって。

結局、ちょっとお話したけど、スパニッシュの探検隊が大群、二万人か三万人という大群で来て、強烈な。それで、通って行った後、smallpox(天然痘)で全部消滅して、後はジャングルになって、で、今衛星で見たら、ピラミッドとか色んな跡が見えるみたい。

理解できている事は全部嘘の世界・その中で生きている私達

だから、数字で言えば、私達は一兆、二兆という、百兆という国会予算ではピンと来るでしょう？一円から始まって。一円から始まってね。

それで、その一兆を一円とすれば10の12乗でしょう。その一万倍が垓(がい)10の20乗という数字になって。それを不可説不可説転(グーゴル数:10の10乗の100乗の数より遥かに大きく無量大数10の64乗のを1とすればその5400の溝[10の36乗]乗)というのは「神様、如何して私は大金持ちから苦勞して全てを失ってこういう風になって、また元に戻ったのですか？」神がヨブにどれ程の雨の数が地上に落ちたかを分かるのでしたらに因縁を教えてあげると、そういう事が聖書に書いてあります。

つまり、不可説不可説転を簡単に分かる頭だったら教えてあげると、日常生活において。使う事も無いし、考える事も無いし。という世界が仏界というこういう瞑想の世界です。だから、頭で考えて解説しようとしているけど、いっぱい本出して。それこそ愚の骨頂という事で早く止めた方が良いね。

ちょっと坐って…一般の人の為には良いですよ。一般の人の為。本当の意味で、それを書いている人はそういう心で本を書かなければ逆に…間違うのだから、絶対に。

分かってないのに書くから。ただお釈迦様の言葉。そういう、菩薩様がいるからね。『金剛般若波羅蜜經』とか。それから、『般若心經』とか。

で、弘法大師様が七つの時にムシロに座ってお釈迦様からこれを深く聞いたと、でも、なかなか分らないと。だって、この『般若心經』だけで涅槃に全部上げてしまうのだから、お釈迦様は。

ところが、そういう事が出来ないから、「あれは誰かが書いたんじゃないか？」と言う、とんでもない恐ろしい事を言っているよ。(笑) 宗祖様を (笑)。人間も底恐ろしい。本当、底恐ろしい。

般若心経秘鍵を書けばやっぱり金の、金色の多分絹だと思う。に金の絵の具でこう書いていたのだと思う。般若心経。そしたら、夜が昼の様に明るくなった。「あれは誰かが…」。恐ろしい事言うね。恐ろしい事言う。だって、自分が理解出来なかったら、あれは違うと。自分が理解出来たら、本物だと。

ところが、自分が理解出来ている事は全部嘘の世界で生きているから、全て嘘だと言う事が分かっていない。アインシュタインも分からない。テスラの本当の事も分かっていない。で、みんな分かると言っているけど、仏界はそれ以上の世界。今、言った様に。不可説不可説転と。

だから、どうしても破壊の世界に入ってしまう。で、一般の人、昔の方がよく分かっていた。幽霊とかそういう天界の事、心から。今はもう、「証明しろ」って、証明しても数学的に頭が無いのに。(笑) 数学的な頭が何も無いのに…じゃあ、何で証明したらいいのですかね(笑)。

エベレストのてっぺんに「私を乗せてみろ」と。そしたらエベレストの高さがよく分かるからって、そんな事言っているよ(笑)。

エルドラド、黄金の図書館

まあ、仏教の目から見たらね。それ位、素晴らしい教えで、今ウンニャデガトのこれも神秘的な物で。まあ、大宇宙的な物で。一平方キロメートルの大地に木一本しか生えないと言う。テラプラタをこう何千年、何万年、どれ位の時間かけて育成したか知らない。

と言うのは、アマゾン是非常に枯れた大地で、それを混ぜて、混ぜて。その当時スパニッシュが行った時はロンドンが五万人。そういう都市がいっぱいあったって。もう、黄金のピラミッドとか夢の様な世界があったけれど、その後、ペストが流行って全滅したと。

だから、アマゾンのジャングルには今でもエルドラドって黄金の図書館があるはず。その話はチラチラっと聞きますけどね。エクアドルでそういう図書館があったとか。

それを私がペルーで、深く瞑想していた時に、神々が私を連れてってくれてそこを見せてくれました。そして、そこは黄金のブッダが瞑想の状態で坐っていました。一緒ですね。図書館の中はみんな黄金でできていました。だから、その話も合うのですね。お釈迦様のジャータカ見たら。時空を超えてしまうからです。

仏界はいつでも最高の物が伝わるように、ここに来ている

私達はこの、そういうものを知る知能とか…体験できるのに、如何に無駄にして虫けら以下の生活している訳ですね。神以上の栄光を得るものを持ちながら、その真逆をやって、あの虫けら以下の方に行こうとしている。

これがまた摩訶不思議。超摩訶不思議。結局、知らないが故にこうなる訳ですね。だから、knowing and seeing。観、ヴィパッサナー。Knowing、seeing。アビダルマ。観自在の観が knowing、seeing のその言葉。だから、奥は深いです。

だから、安心して、只ず一つと瞑想して行って下さい。まあ、私が 57 の人生だったけども、16 の時にまた不思議な人生がまた始まって、ちょうど今、今度 73 になるから…で 2 年山に入ると。

こう言う不可説不可説転の、私達は生きていると言う訳ですね。数字だけ見ても。だから、八卦って占いやるでしょう？だから、それはある程度行くけれど、もっと奥は深い。こういう風に。

その、大慧禅師、一行阿闍梨。その上の方の阿闍梨。善無畏インドから来て全部…その前が、金剛智。で、この一行禅師とも言うけれど、地球儀は作る、予言はする。で、もう禅も極めた方で。というのは、その前は道教やって、道教全部極めた方で、禅に入って行って。

で、不思議と善無着（金剛智と不空はパミール高原より中国に到來說）という、阿闍梨に秘法を教えて、そして、その後、不空がインドネシアから来て、それで不空が恵果、で弘法大師と繋がる。（Kabul とボルドボール、インドネシアは深い関係にあります。）

という風に、仏界の世界はね、あれだ、これじゃ無い訳です。色んな物が混ざってもう最高の物が何時でもこう伝わる様になってここに来ていますから。

弘法大師様があまりの高い所にいるから、殆んど理解出来ないと思う。『般若心経秘鍵』とかね、そういう事自体も。つまり、良い先生に出会わなければ如何にして、どういう風にして山に登って良いか見えない訳ですよ。

だから、達磨大師様が来て、で、その、法を受け取るけど、結局、『正法眼蔵』というヴィパッサナーが日本に伝わって無かった訳ですね。中国にはあります。だから、結局、凄く法では大発展したけど。まあ、こっちはそれをずうっと、文献とか、キープしている訳ですね、全部。

だから、何時の世にか、それを解説する方々が出るかという事で、待っている訳ですから。まあ、あなた方の責任は大きいデスよ、これから。（笑）まあ、そういう事で、不思議なお茶を飲んで下さい。（笑）



全てはお釈迦様の慈悲である

まあ、ちょうど時空的な時間がある訳で、それで、やっぱり去年エチオピアに行けるかどうかと言う状態になったのだけれど、体調とか色んな条件でまあ、ここで命を落としてもここに行かなければ絶対に手に入らないと言う事が分かっているから。

まあ、私の家族はこんなものだから、ヒマラヤに行って、何時命をおとすかわからないから、あんまり心配しないんだけど。まあ、それで、無事行って来て、やっぱり最後のお釈迦様のメッセージを不思議とエチオピアの秘境の中で受け取って。

でまあ、それで無事に今回は今まで一回もしなかったのだけれど、もう時期が来たから、金剛般若波羅蜜多經をちょっとだけ、手ほどき出来てとても私自身としても、全ての仏が一切ここに入っていますから。教えが。これ以上の本を読んでもそれは楽しいのですけれど、ここに心があるから、これでもうお終いと言う事です。

まあ、後はアビダンマで行かれるのも良いのだけど、日本のこの体制じゃとてもじゃないけど修行時間と道場の問題としてが出来る訳ないから、それでまあ、ちょっと方便、だから、方便の事最後も言ったけれど、昨日の法話でだから、方便を使わせて戴いて。

それでやっぱり、本当にもうベースキャンプどころか一、二キャンプまで上がっている、もう隊列組んでいるから、心配ないです。

だから、これも全てお釈迦様の、慈悲の塊だから。慈悲の塊。で、お釈迦様ほど謙虚な方もいないし。それでいて。まあ、そう言う、もう完全にお釈迦様は観音様の化身ですね。まあ、そう言う事でこの二年間、ゆっくり山に入ってまた、この地球の為に何か啓示を頂けるかもしれないし。頂けなければ私遊んで来ます。(笑)まあ、そう言う事で。

「無根樹」の極意は無我

【参加者】

太極拳をつくった人の漢詩で「無根樹」。根が無い樹で。人間と言うのはこの「無根樹」だって言う漢詩があるって言うんで、「そう言う漢詩があるから、日本語に訳してくれ」って、太極拳の先生から言われて、いや、全然訳せないなって言うのがあるんですけど、そう言うのって、やっぱりその無根樹って言うのは、やっぱ仏教の教えともこう共鳴すると言う様な、そう言う言葉、さっき先生が木の話されていたので。

【水源師】

やっぱり、「無根樹」の極意は無我。無我を使えばどんな大敵をも打ち負かします。だから、どんな時でも、どっちが本当の無我を持っているかが真剣勝負。だから、その、坐禅と武士道は一致してしまう訳です。武士道の場合は真剣勝負で行きますけれど。やっぱり、相手は殺さない。

あの、まあ、気違いの場合は殺さないけども痛める。痛めておしまい。というのは、もう分かってないから。やっぱり、真剣勝負だから、次郎長に誰も勝てなかったのは、次郎長がスッと出したら、もう、「あ、すいませんでした」と。命を落とすという事で。

それは、一般的に、あの、こう、命を懸けて行くから分かるでしょう？それで、やっぱり、禅も一緒に命を懸けて、それ以上の強力な事するから、説法の戦いになれば、それこそ一つの命じゃないからね。一つの命じゃないから。次から、次へと重なって来るから、もし、そこで一つでも間違った事を、発見出来たら、謝れば良いけれど、出来なかったら、やっぱり、大変な事になる。

だから、この真剣勝負は一生に一回あるかないかという事で。ま、そういう時があつて、二回あつて、で、結果的には、良い結果もたらしめます。

ま、そういう事で、やっぱり、そこでアビダンマがどこまでやったかという究極の討論になって行くから。それも、長い事じゃないですよ。本当に、禅と一緒に。で、やっぱり、回答が一年、二年、五年懸かります。

で、最後に、「確かに、その通り」という事。だから、それだけ、自分の心をずうっと深く、「観自在菩薩行深」、それをやった。ずーっと。もう、何処までもやって行くわけですね。つまり、自分の人生観たり、未来観たり、一体どういう事になっているか？じゃなければ、この次に生まれた時が大変な事になるから。で、私もまた、それを懸けて言う訳ですから。ま、そういう世界があります。



虚空蔵菩薩様

虚空蔵菩薩様

【参加者】

あの、今回は初めから虚空蔵菩薩様から始まって、この合宿、私、お連れして言うのがあって、その虚空って言う字を見てたら、その「虚」って言う字はこうたれの字に七が並ぶって書きますよね。虚空の。七、虚空って何か無量の様な感じがするのですけど。凄く。なんで七が並ぶのかなって思って、先生何か、どういう意味なんだろうな？と思って。

【水源師】

えっと、それは過去…えっと、こうです。ヴィパッシ、シキ、ヴィパヴ、カクサンダ、コーナマガ、カシャパ、ゴータマ。七仏。仏の数。まあ、薬師如来様も七つの仏だけど、正式にはこっちの七仏。で、虚空蔵菩薩様が一切の仏を受け取っている訳ですね。一切…だから、マニ珠を持って。

だから、大日如来様の上に乗っかっていると言うのはそう言う事で。で、虚空蔵菩薩即金剛般若波羅蜜多心経。そのもの。一切の仏はここから出ると。だから、七つで現在は合わしているけれど、実はもっと無量の仏。全て虚空蔵菩薩から。

只々、座って法を求めよ

だから、底が知れないですね。あの、こう勉強していけば。まあ、そこはしなくてもいいです。そこはしなくてもいい。そこをやれば必ず頭狂う。絶対に頭狂っておかしくなってしまう。

だって。討論したら、観る事が出来ないのにそれを本とかそれをやるわけですよ。日本は。完全にもう頭狂ってた。ところが、皆そう言う人の話聞いているから。全部頭が狂っていく。それが本当、その狂った事が正しいとなれば、本当の事を観る事が出来ない。

これが実際に発生した訳です。第二次世界大戦でナチス・ジャーマンの時に只一人それは間違っていると言ったら、精神病院に入れられたでしょう。で挙句の果て、ドイツが全部崩壊した時に、彼一人が正しかったと。全部、間違いだった訳。

日本も第二次世界大戦、同じ様な行動して、今正に間違いの方にまっしぐらに走っている。結局、分からないのにそんな事ばかり言っているから。で、それはね、その一代で終わらないのですよ。因果の関係で。聞いた人もやられ

るけど、言った人はどれ位の恐ろしい時空と、所に行くか分からない。

だから、私がここで何回も、何回も言っているのは只々坐って法を求めるだけしていけば、勉強しなくても良いと。

というのは勉強出来る環境ではないわけです。本当の事を教えてくれる人がなくて、只經典があるだけだから。結局これは瞑想でしか解読出来ない様になっています。只その手ほどきとして、こうして行けば出来ますよと言う事を今回、もう、いよいよ実りの時期が来たから、皆さんで出来るから、これをやったわけです。前は話だけ。土壌を開拓して最後この種を植える事が出来たという事で。そういう繋がりがあります。

【水源師】

じゃあ、みなさんお元気で。

【参加者】

先生も気をつけて。(笑)

【水源師】

もし、命を落とさずに出てきたらまた会えます。



水源禪師法話集 116

(2019 年 5 月 6 日 山梨合宿最終日)

2019 年 7 月 16 日発行

編集兼発行 一乗禅の会